

2022（令和4）年度版

宇部市の施策について（要望）

宇部商工会議所

2022（令和4）年度版 宇部市の施策について（要望）

I. 新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰等対策

<継続・変更>

（1）2020年1月に国内で新型コロナウイルス感染者が確認されてから、約3年が経過しようとしています。この間、市内中小企業者殊に宿泊業や飲食業では甚大な経営ダメージを受けました。こうした中、宇部市経済を下支えしている小規模企業者はコロナが終息するまで感染予防対策の徹底を行いながら、事業再構築に取り組んでいかなければなりません。業績を回復するまでには相当な時間を要するものと認識しております。

つきましては、国・県の支援策とは別に次のような宇部市独自の小規模事業者向け支援策を早急に実施して下さるようお願いいたします。

- ①宇部市の全市民を対象としたクーポン事業の実施
- ②飲食業の需要を喚起するクーポン事業の実施
- ③宇部市事業資金融資制度の時限的な利子補給制度の設置
- ④金融機関及び信用保証協会と連携した宇部市独自のコロナ対策特別融資制度の設置
- ⑤コロナ特例融資に対する条件付き利子補給制度の設置

<新規>

（2）ご高承のとおり、原油価格等の高騰や為替相場の急激な変動等により、資材価格や燃料費の高騰が続いており、工事原価の圧迫などの悪影響が出ております。また、コロナ禍の影響もあり物流の停滞や半導体不足によって、資材等の納品の遅れも生じている状況です。

宇部市におかれましては、公共工事において単品スライド条項の運用基準の改定をはじめ、適正な請負代金の設定や工期の確保について様々な取り組みを進めておられることに感謝申し上げます。

しかし一方で、単品スライド条項の事務手続きは、書類が非常に多く要件も厳しいために、申請自体が困難な現状があります。そこで、市内事業者が同制度を利用しやすくするために、単品スライド条項の事務手続きの簡素化についてご検討下さいますようお願いいたします。

II. 中心市街地の魅力・にぎわい創出

<新規>

（1）宇部市では中心市街地のにぎわい創出のために、「ウォークアブル実証実験」を始めとした様々な取り組みを行っておられます。こうした中、本年3月に竣工した宇部市新庁舎第1期棟は宇部市のランドマークとして今後まちづくりを進めていく上で、大きなキーフクターとなることが期待されております。

つきましては、現在進められております新第2庁舎構想において、市民がより中心市街地を訪れやすくするために、次のような取組をご検討下さるようお願いいたします。

- ①新第2庁舎内に歴史資料館等の設置。
- ②新第2庁舎内にコンビニエンスストア、スターバックス等飲食店の誘致。
- ③新第2庁舎内に食品自動販売機等、利便性を含めて検討。

<新規>

(2) 宇部市は、ときわ公園や山口宇部空港内の薔薇園をはじめ市内外に誇れる観光資源が数多くあります。殊にアニメ「シン・エヴァンゲリオン劇場版」の公開に端を発し、併せて昨年からは実施された「まちじゅうエヴァンゲリオン」は、市内飲食店などを巻き込んだ壮大なイベントとなり、当市がエヴァの聖地として全国的に知られる大きな契機となりました。

現下の円安基調は、コロナ禍で失った経済損失を取り戻す絶好の機会であり、国内外のインバウンド需要への対応が当市経済を回復する重要な要素となっております。

そこで、空港に降り立った訪日外国人をはじめとする観光客を宇部市中心市街地に誘導するためにも、JR宇部新川駅前の広場等を「交流拠点」としての整備を行っていただき、常盤通りでの「ウォークアブルシティ化」とストーリー性のあるまちづくり施策の検討をお願いいたします。

Ⅲ. 地域経済・雇用を支える地元企業の発展

<新規>

(1) 宇部商工会議所では、昨年貴市と共同で「経営発達支援計画」を作成し、本年3月18日に認定を受けることができました。同計画の作成にご協力いただきましたことに改めて御礼申し上げます。同計画に基づき、これまで以上に地域内小規模事業者に寄り添って伴走型経営支援を推進して参る所存ですが、貴市の協力なくしては大きな成果は期待できません。

つきましては、現在、団体助成金として当会議所に交付されています「宇部市中小企業振興補助金」の更なる増額と継続をお願いいたします。

<継続・一部変更>

(2) 宇部港の活性化を図るため、公共埠頭・公共岸壁の整備拡充・補修、県営宇部ポートビル（通船待合室）の環境改善、危険貨物用倉庫の新設・危険物コンテナ蔵置場の増設を山口県等関係官庁と協議を進めて頂きありがとうございます。

しかしながら、宇部港本港航路及び宇部西航路において大型船が安全に航行するためには不十分な水深となっているままで、民間事業者管理の宇部西航路については、民間事業者だけで浚渫等の整備を行うには費用負担が大きい状況です。

また、近年では、芝中西埠頭蔵置場のコンテナヤード内の路面舗装に凹凸が目立ち、安定したコンテナ配置ができない状況です。天災時にコンテナが横転する恐れがあり危険な状況です。

その他、ソーラスゲートの警備体制については、国外貿易専用の岸壁では行政が警備体制を行うことになっておりますが、国内船も利用する混合の岸壁では行政による警備体制の設置がなされず、同岸壁を利用する民間利用者が警備費用を負担することとなっております。

そこで、このような状況を踏まえ、次の事項について宇部市からも当局へ要望をお願いいたします。

- ①宇部港本港航路の水深-16m増深工事の早期着工
- ②民間事業者に対する宇部西航路の浚渫及び埠頭設備の整備費の行政による補助
- ③行政によるソーラスゲートの警備体制の設置

<継続・一部変更>

(3) 働き方改革を推進し、改正労働基準法による時間外労働の上限規制や改正建設業法による適切な工期設定等に対応するため、今年度から宇部市の土木系工事について、週休二日モデ

ル工事が試行され、具体的な取り組みが進み始めたことに感謝申し上げます。

一方で、営繕系新築工事では、建築・電気・機械等の分離発注が行われているなど、土木工事に比べ現場の状況が複雑で週休二日モデル工事の試行運用が困難であるのが現状です。

つきましては、実施されたモデル工事における検証状況についての情報提供と、改修工事や小規模工事などでの試行によって多様な企業での検証が行えるように、来年度も週休二日モデル工事の実施をお願いいたします。

<継続・一部変更>

(4) 公共工事について、大手総合建設業が発注を受け関連する下請事業者に割り振るケースがほとんどであり、地元業者に仕事が回っていかない状況です。また、資材供給業者についても地元業者が利用されないケースも多い状況です。

そこで、公共工事の地元発注のみならず、落札事業者の地元事業者に対する下請工事及び資材の発注を促すために、同項目に関する努力条項を入札事業者へ浸透するようにご周知いただき、更に地元事業者へ発注されるようにご検討をお願いいたします。

<新規>

(5) 令和4年5月1日、山口県は公共工事における現場管理費及び現場管理費相当額の係数を10分の9に改定されておりますが、宇部市では10分の8のまま据置となっており、事業者の負担増加の大きな要因となっております。

そこで、宇部市においても、山口県に倣い同係数を10分の9に改定していただきますようお願いいたします。

<継続・一部変更>

(6) 最初に本年6月2日に当所から要望いたしました「宇部市内における消費喚起策としての宇部市プレミアム付商品券」を実施していただいたことに感謝申し上げます。現在、事業遂行中ではありますが、商品券の販売実績や交換実績共に昨年度を大きく上回り、市民のプレミアム付商品券の関心の高さが伺えます。さて、現下の日本経済はコロナ禍に加えて、原油高騰や物価高、円安基調等中小企業を取り巻く環境は非常に厳しく不確実な状況です。

つきましては、市内の更なる経済活性化のためにも次年度も引き続きプレミアム付き商品券事業実施のご検討をお願いいたします。

また、令和4年度の当市プレミアム付商品券の発行手段は紙でしたが、他県他市ではデジタル商品券・クーポン券の利活用が大きく進んでいる地域が増えております。デジタル商品券・クーポン券を導入することにより、参加店の換金手続き等の事務負担が大きく軽減されたり、商品券事務局の事務作業が合理化・省力化され、結果として市民の利便性向上にも繋がっているようです。仮に次年度以降に商品券事業を実施する場合は、商品券のデジタル化だけでなく個人番号及びマイナンバーカードを活用した受付手続きのデジタル化等市内のDX推進を見据えた取り組みを盛り込んで頂くようお願いいたします。

以上